

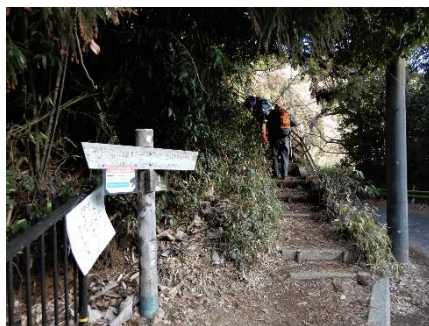
2023 新年山行・新年会 景信山・堂所山・明王峠 ① 2023年1月19日

2019年以来4年振りの新年山行・新年会ができたこと、皆様とともに喜び申し上げます。

2019年暮れから始まった新型コロナウイルスは、丸3年を経ても未だ終息に至っていませんが、LMCは2021年の忘年山行から活動を再開しました。

2022年の新年山行は中止になりましたが、6月に日光澤温泉、10月に尾瀬・燧ヶ岳、12月には忘年山行で岩櫃山へ行くことができました。

2023年も、コロナ対策に注意を払いつつ、活動していきたいものと思っています。



高尾駅前からタクシーで景信山登山口へ。登山開始。(8時45分)



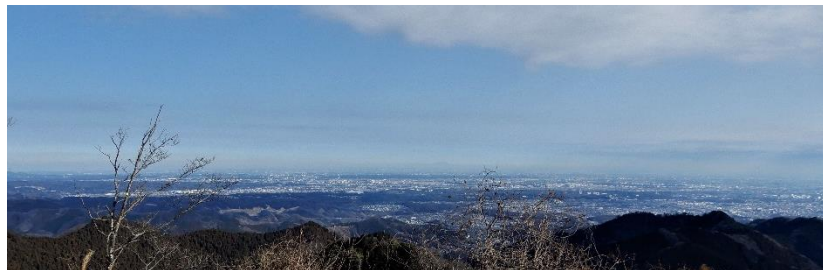
少し歩いて陽が射すと暑くなってきた。(9時15分)



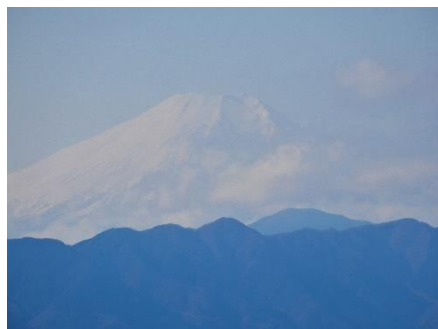
小下沢から登る道との合流点。ここで小休止。(9時40分)



景信山山頂への急坂を登る。(10時04分)



山頂に着いた。都心方面を見るが霞んでいて、スカイツリーも新宿の高層ビル群もそれと指摘することはできない。(10時15分)



景信山頂から見た富士山。空に溶け込んでよく見えない。



景信山頂で記念写真。樋口さんは先に出立された。(10時33分)



檜の美林の中の道を行く。写真は阪西さんの作品。景信山から堂所山、明王峠までの道は、東京都と神奈川県との都県境の上を辿るようにして通じている。この場所は、ピークの巻き道で、神奈川県側の「水源の森林」となっている。



景信山頂周辺は霜が融けて泥道だったが、ここは歩きやすい。(11時28分)



明王峠まで、堂所山も含めてピークは全て巻き道を進んだ。(11時31分)

「関東ふれあいの道」と名付けられていてところどころにこんな案内板が立っている。(12時21分)



明王峠に到着した。昔、道ができて、ここに不動明王が祀られたことから、明王峠と呼ばれるようになったのだろう。ここからさらに陣馬山へ至る道がある。(12時35分)



明王峠にあるテーブルとベンチで昼食を食べた。(12時45分)



少々予定時間より遅れていたため、食後の休憩時間を短縮して13時00分に出発することにした。(つづく)



明王峠はこの写真の右から奥にかけて開けていて、茶屋が建っているが営業されることがあるのかなのか。
 ここから左下に 10 歩ほど下りるとイシがある。
 この中央あたりから左遠方を見ると富士山が見えるのだが、霞んでいて見えなかった。
 右の富士山は、2019年の新年山行の時に写したものだ。



出発の準備を終えて、振り返る。
 (13時03分)



下りにかかろう。(13時05分)



「石投げ地蔵 嬢ヶ塚」通過。概略右上のような説明文があったが、熟読してもこの塚が何なのか、不明。(13時17分)

天正のころ、武田一族の姫が常陸の国佐竹に嫁したが、幼女を残して離縁になった。幼女が成長して母に会うべく旅してきたが、戦国乱世のことで敵方に見つからないように間道や峰道を辿っての旅で容易ではなかった。



栃谷・伝通と底沢を結ぶ林道に出た。横切って真っ直ぐに進む。明王峠 0.5km、与瀬神社 3.6km の標識がある。(13時26分)



足取り軽く。(13時46分)



大平で小休止。(14時04分)



相模湖見えてきた。ゴールは近い。(15時08分)



相模湖を見下ろす展望台についた。与瀬神社まで 0.5km とあるが、ここからの下りがジグザグの繰り返しでよかった。高速道を走る車の走行音が絶え間なく聞こえていた。(15時10分)



与瀬神社に着いた。(15時37分)

社殿に向かって今日の登山の無事を感謝して一礼し、急な石段を下りて高速道路の上を陸橋で越えれば、線路沿いに市街の裏道を歩くこと5~6分で相模湖駅に着く。

新宿の居酒屋で新年会を予定しており、相模湖駅発 15時53分の電車に乗ることになっていたため、駅に先着した星さん、阪西さん、大嶋さんの三人はそれに乗車して新宿に向かった。乗り遅れた樋口さん、梶山さん、勝沼の三人は、16時21分発の高尾行に乗車した。

高尾駅に到着すると、向かい側のホームに特別快速東京行の電車があり、それに乗り込んで新宿に向かった。
 新宿西口「亀馬 華の舞」では、都合で山行に参加できなかった三人、山川さん、川村さん、加藤さんが加わって貸し切り状態で賑やかな新年会になった。



山行参加者 樋口・星・阪西
 ・大嶋・梶山・勝沼

新年会参加者 樋口・山川・星
 ・阪西・大嶋・川村
 ・加藤・勝沼